

かがやき



大久保小学校 学校だよりNo.13
令和5年8月31日
発行者 黒田 優一



平和集会（8月9日「県民祈りの日」）

台風6号の接近に伴い、8月9日の「県民祈りの日」に実施できなかった平和集会を、8月30日（水）の1校時に行いました。

今から78年前の昭和20年（1945年）8月9日午前11時2分、長崎市の上空で一発の爆弾が爆発しました。原子爆弾（原爆）です。

アメリカ合衆国は1945年8月6日に、広島に原爆を投下しました。さらに3日後の8月9日、アメリカ合衆国の爆撃機B29は小倉（福岡県北九州市）に原爆を投下する予定でしたが、小倉の視界が悪かったため長崎に向かい、高度9,600mから原爆を投下しました。原爆は午前11時2分、長崎市松山町の上空約500mで爆発したのです。

原爆が投下された当時、長崎市の人口は約24万人でしたが、原爆によって昭和20年12月末までに73,884人が亡くなりました。74,909人が負傷し、原爆の熱線・爆風・放射線による病気（原爆症）が人々を苦しめ、生き残った人でも時が経つにつれて様々な病気になり、今でも苦しんでいる人がいるのです。また、市内の約36%にあたる、18,409戸が被害を受けました。

戦争は、人を傷つけ、人のいのちを奪うものです。絶対にしてはいけません。戦争や核兵器がない世界にするために、私たちに何ができるのでしょうか。争いがなく、平和で穏やかな生活ができるようにするために、私たちは今、何をしなければならないのでしょうか。

子どもたちは、平和集会をとおして、8月9日に長崎の街で何が起こったのかを知るとともに、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さ、平和の尊さについて考えました。そして、争いのない平和な世の中を築くために、今自分たちに何ができるのかを考え、自分を見つめ直す一日となりました。

ぜひご家庭でも、争いがなく世の中にするために私たちに今何ができるのか、一緒に考える機会を作ってくださいと思います。そして、戦争の悲惨さや平和の大切さについて、子どもたちにぜひお話しいただければと思います。

川口 百合亜 教諭が復帰しました

たんぽぽ学級担任の川口百合亜教諭が、育児休業を終えて8月1日に職務に復帰しました。2学期からよろしくお願いいたします。

9月の主な行事予定

- 1日（金）1時間短縮授業
- 2日（土）6年親子レクリエーション
- 4日（月）PTA執行部会
- 5日（火）授業参観・懇談会（1,2,3年）
校内夏休み作品展
（9/5～9/8）
- 6日（水）委員会活動
- 8日（金）授業参観・懇談会（4,5,6年）
- 12日（火）PTA実行委員会
- 17日（日）家庭の日
- 18日（月）敬老の日
- 19日（火）食育の日、徳育の日
- 23日（土）秋分の日
- 27日（水）クラブ活動